

久米南町住宅耐震化緊急促進アクションプログラム

1. 目的

本町では、令和 3 年 3 月に久米南町耐震改修促進計画を改定し、令和 7 年度末における耐震化率の目標値を 95%とした。この目標の達成に向け、住宅所有者の経済的負担の軽減を図るとともに、住宅所有者に対する耐震化促進、改修事業者の技術力向上、一般町民への周知・普及等の充実を図ることが重要である。

このため、久米南町住宅耐震化緊急促進アクションプログラム（以下「アクションプログラム」という。）では、毎年度、住宅耐震化に係る取組を位置づけ、その進捗状況を把握・評価するとともに、プログラムの充実・改善を図り、住宅の耐震化を強力に推進することを目的とする。

2. 位置付け

アクションプログラムは久米南町耐震改修促進計画第 3 章第 2 に基づき策定する。

3. 対象区域

アクションプログラムの対象区域は、久米南町全域とする。

4. 取組内容・目標・実績

(1) 計画

	令和 7 年度取組内容	令和 7 年度目標
	【財政的支援】 i) 住宅の耐震診断費に対する一部補助を実施。 ii) 住宅の耐震改修工事費に対する一部補助を実施。 【普及・啓発等】 i) 住宅所有者に対する直接的に耐震化を促す取組 ・固定資産税納税通知書送付時に耐震診断及び耐震改修補助等に関するチラシを同封する。 ii) 耐震診断を実施者に対する耐震化促進 ・耐震診断結果報告時におけるリーフレット等の配布・説明等により耐震改修を促進 ・耐震診断後一定期間経過しても耐震改修を行っていない者に対して電話連絡等により、耐震改修を促進 iii) 改修事業者の技術力向上 ・改修事業者に対する耐震改修工法等に係る説明会を年 1 回以上実施（県主催） ・県ホームページに耐震改修事業者リストを公表 iv) 耐震化普及啓発の実施 ・広報誌に耐震診断及び耐震改修補助等の内容を掲載し、耐震改修の必要性の周知 ・防災訓練等のイベントにおいてブース展示の実施 ・リーフレットを配布し、補助制度概要等の周知	・木造住宅耐震診断補助戸数：5 戸 ・木造住宅耐震改修工事補助戸数：なし 前年までの実績 令和 3 年度 ・木造住宅耐震診断補助戸数：2 戸 ・木造住宅耐震改修工事補助戸数：なし 令和 4 年度 ・木造住宅耐震診断補助戸数：2 戸 ・木造住宅耐震改修工事補助戸数：なし 令和 5 年度 ・木造住宅耐震診断補助戸数：2 戸 ・木造住宅耐震改修工事補助戸数：1 戸 令和 6 年度 ・木造住宅耐震診断補助戸数：1 戸 ・木造住宅耐震改修工事補助戸数：なし

(2) 自己評価

自 己 評 価	令和 6 年度取組実績	前年度（令和 6 年度）の課題
	・固定資産税納税通知書送付時に耐震診断及び耐震改修補助等に関するチラシを同封する。（1 回） ・耐震診断を実施者に説明等により耐震改修を促進（1 件） ・広報紙へ耐震診断及び耐震改修補助等に関する記事を掲載（約 1, 9 0 0 件） ・窓口で住民に対して、耐震診断補助事業について説明を行う（2 件）	・耐震化に対する意識が低いため、重要性及び補助制度の利用促進を図る必要がある。
		改善策
		・町ホームページの補助事業について、リニューアルし耐震化の必要性や補助制度について積極的に PR を行う。